



[アフターオール]

after

R18
ADULT
ONLY



※顔は出してませんが、最後にちらっと♀審神者います。
※前作と同じ本丸ですが、前作を読んでいなくても大丈夫です。
※格好いい燭台切と長谷部はほぼいません。
※何でも許せる方向けです。

110
110
110

はっ

あ

110
110
110



は……

は——

意識を手放す前に見えたのは
燭台切の幸せそうな
困ったような
何ともいえない表情だった



翌朝

んっ

おはよう長谷部くん
大丈夫？
起き上がれそう？

…ああ

そろそろ朝ご飯の
時間だよ

動くのが
つらかったら
こっちにお膳を
運んでくるけど…

いや大丈夫だ
広間へ行く

何事もなかったように
いつも通りに
接してくるが――

何なんだ……？

え？

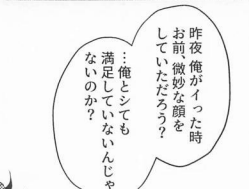


燭台切と
身体を重ねるようになって
まだ片手で数える程だが

初めてした時は
獣のように
何度も貪りあって朝を迎え
目も当てられない姿のまま
起き上がることもできなかった

二度目の時は
互いに緊張と
恥ずかしさのあまり
ぎこちなさもあったが
酷く優しくされて
もとかしいとすら感じる
甘い時を過ごし

三度目の時は
ようやく俺の方から誘って
互いに求めているのだと
身も心もすべて預けられるように
なったはず——なのに



フツッ

いいか 燭台切！

俺が必ず
お前を満足させて
やるからな
！

か

っ

えっと

.....
うん
どうも
ありがとう(?)

それは長谷部くんのイク
姿が、うん、にもえっちで
可愛すぎて、理性が吹き飛
び、になるの
.....
うん
どうも
ありがとう(?)

after
all.

[アフターオール]

その①
【精のつくものを食べる】

燭台切が満足するだけの
回数をこなすとなると
まずは
精のつくものを摂らなくては
なるまい

今日の夕餉は
随分と豪華だね？

え？
誉をとった
長谷部の
リクエスト…？

長芋のサラダ
牡蠣のんにく炒め
鰻のどんぶりに
赤身のステーキ？

……なんだか
元気になれるそうなの
のばかりだけれど

燭台切
おかわり

オーケー
長谷部くん
今日は作りがいが
あって嬉しいな

えっキミ
丼3杯目!!

体力をつけないければ
ならないからな

そ、
そうなのかい…？

そんなこんなで
挑んでみたものの

長谷部くん
大丈夫!?

体力お化けか?

ううっ

あ...
寝ちゃった

長谷部くん
僕も同じもの
食べてるって事
わかってるのかなあ...

俺は

まだ
イケる...ムニヤ

【えつちな下着を身に着ける】

普段とは違う
えっちな下着で
恋人に新鮮な驚きと
喜びを与えて
濃密な時間を過ごそう——

えっちな
下着……

??

……なんだ、これは!?

כ

俺がコレを身に着けて
本当に燭台切が喜ぶと
いや、しかし——

は——長谷部
そ、それ、は……？

ズン

あ、ああ
お前の好みが
分からなかったから
選ぶのにずいぶん苦労したが
どうだ？

こんな姿
お前にしか
見せられな……

長谷部くんツツ!!

ものすごく似合ってる！
えっちすぎて目が離せな
目のやり場に困っちゃうから
これ羽織って!!

いいからっ！

は？

鳩台切の本音が
聞こえに気がしたが
失敗だ

その③
「積極的に求めて
相手を悦ばせてみる」

そういえば
いつも燭台切に
気持ちよくさせられてばかりで

俺から燭台切を
悦びた事があつただろうか？
俺が燭台切にしてやれること――

長谷部くん
待っ……

僕、まだ汗を
流してなくて
ばっちいからっ……

それは俺も同じだ
初めてで上手く
できないかも
しれんが
……というかデカいな

あつ、こらっ！
ダメだって
言っ

んうっ

んむっ、

うっ

ぐっ

ぢゅぽっ♡

ぢゅぽっ♡

ねっ♡

ねっ♡

ねっ♡

はは

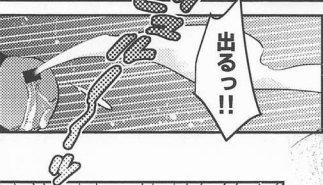
はは

はは

はは

はは

はは







燭台切…

一生懸命
僕を喜ばせようとしてくれる
長谷部さんの気持ちが嬉しいし
決して満足していない
わけじゃないんだ



僕はね
長谷部さんと
こやって
過ごす事ができて
幸せだよ

ああ
俺もだ



あまりにも
可愛いことをしてくれるから
僕の理性が吹き飛びそうで

長谷部くんを
大切にしたいのに

そうじゃなくて



初めて
セックスした時みたいに
酷くして
君を抱き潰して壊して
しまわないか

僕は
それが怖いんだ



その…



えっ
そんな事って

俺も
あの日のことは
覚えている

……なんだ
そんな事を
気にしていたのか

……そうか
それからずっと
どこか遠慮していたのは
そういう事だったのか

いいぞ
お前の気が済むまで
酷くしてくれ

ハッ
構わない
と言っている

!!
君はまた
そんな事っ
!

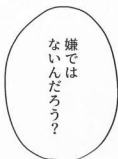
壊れるまで
抱き潰してみせろよ
色男





は

あ~~~~もう
長谷部くんその煽りグセ
ほんとと良くないよ!



嫌ではないんだろう?



もうっ!

アッ



そういうの
僕だけにしてよね

当然だ

~~~~~  
はあ



好きだよ  
長谷部くん

俺も  
お前が好きだ

燭台切



表紙を先行して描いたら  
長谷部くんが思いのほか可愛くなったので  
もともと描こうと思っていたお話から  
随分と変わってしまいました。

いかがだったでしょうか？  
描くのはすごく楽しかったです！

だいぶふざけた感じとなりましたが、  
前作と同じ本丸の二振りのお話でした。

## 長谷部くんにはもっと清楚な感じの ランジェリーも似合うと思うよ(心の中の燭台切)

ここまで読んで下さって有難うございました！  
一度目とか二度目のあたりのお話も描きたいな。  
またお会いできたら嬉しいです。

2024.12.1 たつみ晶

発行日：2024.12.1

発行者：Hummingbird(たつみ晶)

連絡先：at\_hummingbird@yahoo.co.jp

Pixiv：1410023 X/Twitter：@xxxxTatsumi

Bluesky：@xxxxtatsumi.bsky.social

印刷所：太陽出版株式会社様



wavebox



マジュマロ

感想などございましたら  
ぜひお聞かせください。

※本書は二次創作による同人誌です。すべての著作権元とは一切関係ありません。  
※無断転載、複写、ネット上へのアップロード、ネットオークション等への出品を固く禁じます。  
※ご不要の際は中身がわからないようにして、可燃ごみとして処分してください。

Toukenranbu Unofficial Fanbook#02  
ShokudaikiriMitsutada × HeshikiriHasebe  
Hummingbird,TatsumiAkira  
2024.12.01

